



豊かな環境を次世代に引き継いでいきます

今から50年前。本市は、豊かな自然と生活環境を守り、文教の振興を図るまちづくりを目指し、「文教住宅都市宣言」を行いました。さらに今年は、平和非核都市宣言から30年。環境学習都市宣言から10年の節目の年を同時に迎えます。

9月16日には、三つの都市宣言合同記念事業として、県立芸術文化センターで音楽コンサートやシンポジウムを行いました。また、市内で積極的にまちづくりに取り組んでいる皆さんへの感謝状を贈呈しました。(6・7面参照)

今後も市民の皆さんと共に誰もが住みたいと願う魅力あふれるまちづくりを進めていきます。問合せは政策推進課(0798・35・3427)へ。

## 宣言の経緯とこれまでのまちづくり

### 独自の芸術・生活洋式 阪神間モダニズム

本市は、古くから門前町として栄え、西国街道と中国街道の交流地であることから、宿場町としても発展してきました。伝統産業である酒造りは全国的に知られるようになりました。



明治7年に国鉄西ノ宮駅ができ、同38年に阪神電車本線が、大正9年には阪急電車神戸線が開業し、大阪と神戸への交通が急速に発展しました。明治から大正にかけ、鉄



関西学院・神戸女学院などが移転

## 市長からのメッセージ 先人達が築いたものを次世代に

今年は文教住宅都市宣言50周年という節目の年にあたります。これまでこの宣言の理念に基づき、良好な住環境を維持し、先進的な文化・教育の充実に尽力してこられた先人たちに深く敬意と感謝を表する次第です。

この宣言に基づくまちづくりを進めていくためには、社

会が平和であることや、豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくことが必要です。平和非核都市宣言や環境学習都市宣言も文教住宅都市の理念に基づいたものです。

現在、本市では豊かな市民力により、文化的風薫る活気あふれるまちづくりが進められており、「住みたいまち・

これからも三つの都市宣言の理念を胸に、市民の皆さんと手を取り合って「ふるさと西宮」のよしり一層魅力あふれるまちづくりを進めていきます。

西宮市長

河野 昌弘

住み続けたいまち」として市内外から高く評価されています。

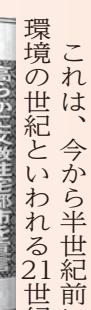
的価値を先取りしたものであるといえます。

昭和46年に策定した最初の「総合計画」から現在の「第4次総合計画」に至るまで、一貫して、「文教住宅都市」としての特徴を生かしたまちづくりを進めてきました。平成20年4月から中核市に移行し、文教住宅都市としての特性にさらに磨きをかけ、地方分権時代にふさわしい個性的で魅力あるまちづくりを展開しています。また、近年では大型商業施設や県立芸術文化センター、通年型スケートリンクがオープンするなど、新たなまちのにぎわいが生まれています。このような多彩な魅力が市内外から評価され、現在人口48万人を超える県下第3位の都市として成長を続けています。

三つの都市宣言の節目の年にあたり、これまでのまちづくりの成果を振り返るとともに、市民の皆さんと将来の西宮の在り方について、共に考えていきます。

昭和38年11月10日号  
西宮市政ニュース1面より掲載

これは、今から半世紀前に環境の世紀といわれる21世紀に、住みやすい町へ市政の基本理念を示す。昭和初期以降は、多くの私立学校が良好な教育環境を求めて移転してきました。文教都市・住宅都市の基礎は、この時代に作られたといえます。その後、33年に上ヶ原地区が、東京都の国立地区に続い、全国で2番目の文教地区に指定されました。

昭和38年11月10日号  
西宮市政ニュース1面より掲載

これは、今から半世紀前に環境の世紀といわれる21世紀に、住みやすい町へ市政の基本理念を示す。昭和初期以降は、多くの私立学校が良好な教育環境を求めて移転してきました。文教都市・住宅都市の基礎は、この時代に作られたといえます。その後、33年に上ヶ原地区が、東京都の国立地区に続い、全国で2番目の文教地区に指定されました。

これは、今から半世紀前に環境の世紀といわれる21世紀に、住みやすい町へ市政の基本理念を示す。昭和初期以降は、多くの私立学校が良好な教育環境を求めて移転してきました。文教都市・住宅都市の基礎は、この時代に作られたといえます。その後、33年に上ヶ原地区が、東京都の国立地区に続い、全国で2番目の文教地区に指定されました。

これは、今から半世紀前に環境の世紀といわれる21世紀に、住みやすい町へ市政の基本理念を示す。昭和初期以降は、多くの私立学校が良好な教育環境を求めて移転してきました。文教都市・住宅都市の基礎は、この時代に作られたといえます。その後、33年に上ヶ原地区が、東京都の国立地区に続い、全国で2番目の文教地区に指定されました。

県下第3位の都市に